

第6回 真駒内駅前地区まちづくり地域協議会

会 議 記 録

1 開催概要

日 時：令和4年11月7日（月）
18：30～20：30

場 所：南区民センター<2階 区民ホール>
（南区真駒内幸町2丁目 2-1）

参 加 者：13名

事 務 局：札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課調整担当課長
〃 調整担当係長
〃 担当職員
〃 担当職員
（運営支援 株式会社アド・ビューロー岩泉）

林 久 哲
飯田 健
牧田 翔太
酒 井 新

配布資料：会議次第

真駒内駅前地区まちづくり地域協議会名簿
真駒内駅前地区まちづくり計画<素案>概要版
真駒内駅前地区まちづくり計画<素案>
真駒内駅と駅前街区の連続化について、土地利用計画図、パース
各意見聴取におけるこれまでのご意見とその対応

ワークショップの概要

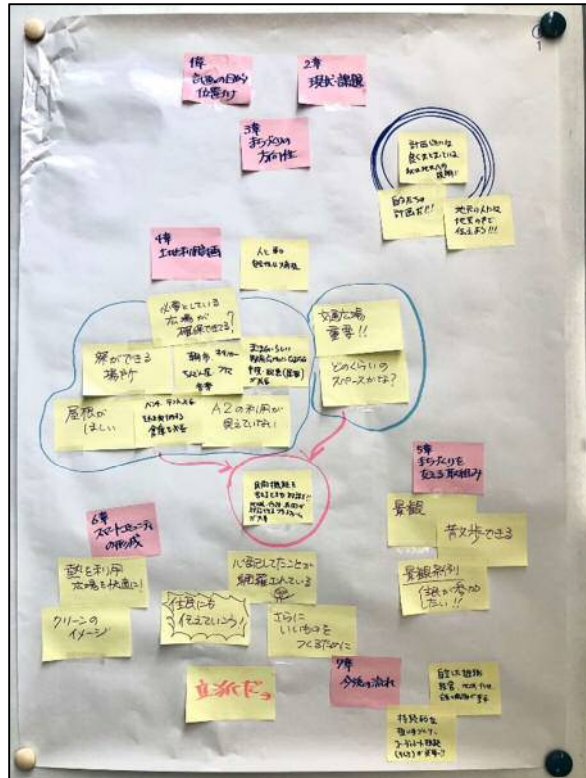
当日の主な流れ

実施日時	内容	協議会 参加人数
令和4年11月7日 (月) 18:30~20:30	受付開始 ↓ 開会の挨拶 ・札幌市挨拶 ・ファシリテーター自己紹介 ・本日の流れ、参加エチケットのお願い ↓ 事務局からの情報提供① ・真駒内駅前地区まちづくり計画(素案)について ↓ グループディスカッション① ・真駒内駅前地区まちづくり計画(素案)について ↓ 共有 ↓ 事務局からの情報提供② ・交流広場の有効的な活用方法について ↓ グループディスカッション② ・交流広場の有効活用にあたり運営する人の視点、活用する人の視点、利用する人の視点から考えられることとは ↓ 共有 ↓ 閉会の挨拶 ↓ 閉会	・①グループ (会場参加) / 5名 ・②グループ (会場参加) / 4名 ・③グループ (会場・オンライン参加) / 4名 合計 13 名

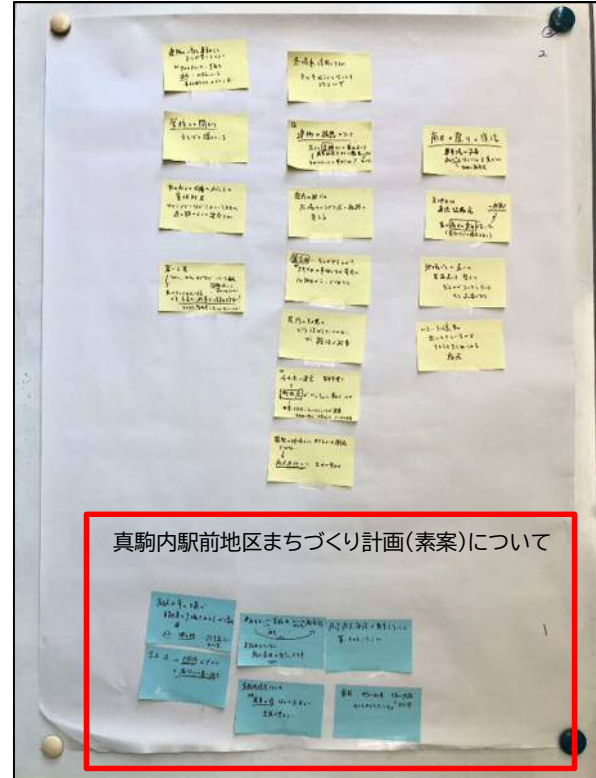
開催の様子



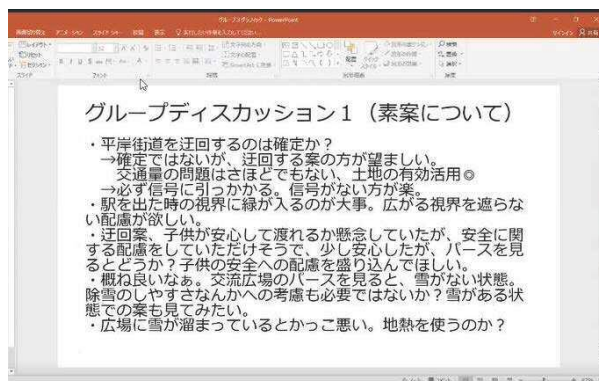
2 真駒内駅前地区まちづくり計画(素案)について



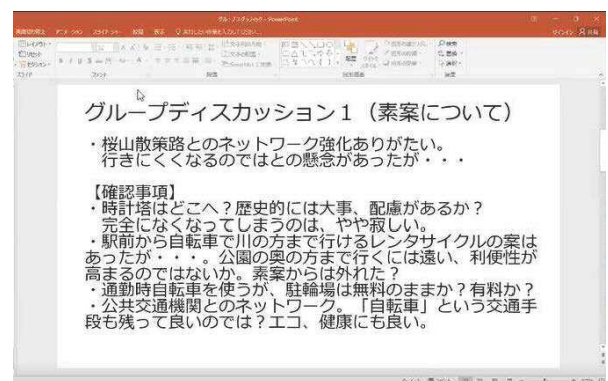
①グループ



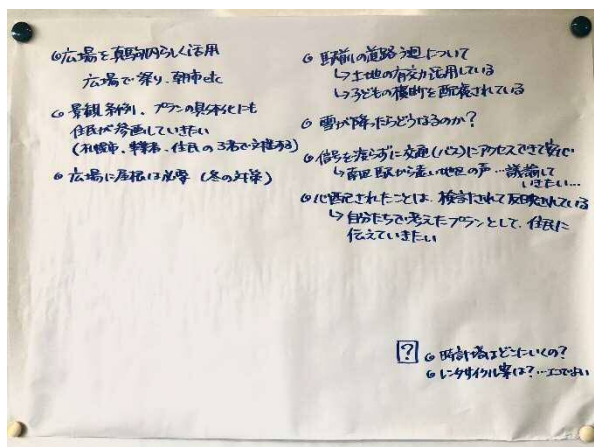
②グループ



③グループ(1)



③グループ(2)



各グループから出た意見のまとめ

「土地利用計画」について

- ・定山溪や簾舞、藤野といったエリアは人口の高齢化が進んでおり、自動車を手放す人が顕在化している中、バス等の公共交通から乗り継いで地下鉄を利用する方が増えており、その対応は必要だと思う。そのような状況の中、駅から道路を渡らずに駅前の機能を利用できるのは良い。
- ・少子高齢化が進む中で、地域再生の拠点として期待ができる内容である。
- ・平岸通を迂回する方が良い。交通量の問題はさほどない。
- ・土地を有効活用するのであれば、駅とつながる形のほうが良い。
- ・平岸通を横断する際は、必ず信号に引っかかるので信号がない方が楽だと思う。
- ・迂回案では子どもが安心して道路を渡ることができるか懸念していたが、信号機の設置・移設、交差点・道路線形の改良などについて検討することなので、しっかり進めてほしい。
- ・災害時などを考えたとき、道路の迂回は心配。
- ・桜山散策路とのネットワーク強化は、これまで懸念していたのでありがたい。
- ・交通広場は駅の近い場所に配置されており、真駒内以外からくる方々にとっても重要な位置付けであることから、整備に向けては、風雪にさらされないような快適な環境となるよう十分な検討が必要である。
- ・パースを見る限り、広場空間は通路のようになっているが、駅前広場として必要な大きさが確保できているのか。広場空間は真駒内らしさが伝わる一体的な空間とする必要があると考えており、A1 街区、A2 街区のスペースのとり方により広場空間が圧迫されているように見える。
- ・A2 街区の利用方法が見通しづらいところであるが、駅前の一番の大事な場所は市民がみんなで使える場所にしたい。
- ・交流広場においては、屋根の設置など冬場対策も必要だと思う。
- ・交流広場は朝市、キッチンカー、フリーマーケット等を地域住民等が利用するようなイベントができる場になると良い。
- ・交流広場にはベンチやテント、さらにそれを収納する倉庫も必要である。
- ・自転車に関する記載を充実化した方が良いのではないか。
- ・駅前のシンボルである時計塔はどこへ行くのか。
⇒（札幌市の回答）
 - ・道路整備の関係で、若干位置が変更される可能性はあるが、基本的には駅前にそのまま残す方向で考えている。
- ・建物ができる段階での住民参加はどのように考えているか。
⇒（札幌市の回答）
 - ・景観については今後「景観まちづくり指針」の策定に向けて、地域の方々等と一緒に検討する場を設けていきたいと考えている。
 - ・広場についてはソフト(運営体制)、ハードの部分も含めて、地域の方々等のご意見を聞きながら検討を進めていきたいと考えている。
- ・駐輪場は現状のとおり無料で利用できるものが整備されるのか。
⇒（札幌市の回答）
 - ・駐輪場については、現在のところ、現状と同様の位置づけものを整備することで想定している。

「まちづくりを支える取組」について

- ・駅を出たときの視界に緑が入ることが大事だと思うので、広がる視界を遮らないように A 街区の施設の配置等は配慮して欲しい。駅前が駅と直結し、視界が広がると駅前空間を気持ちよく感じられると思う。
- ・緑と景観形成はとても重要であり、真駒内のまちづくりにおける重要なコンセプトの 1 つである。
- ・景観指針については、地域住民が参加する場を設け、話し合いが行われるようにして欲しい。
- ・今後事業化が進むうえで、地域住民、札幌市及び事業者が対話できる場を設けてほしい。
- ・持続的な担い手づくりやコーディネート機能(組織)が必要である。
- ・レンタサイクル等自転車の活用についてはどのように考えているのか。実現できれば利便性が高まり真駒内に来る人が増えると思う。

⇒（札幌市の回答）

- ・レンタサイクルについては、真駒内駅前地区まちづくり計画（素案）の「第 5 章 まちづくりを支える取組」「2. 地域主体のまちづくり(エリアマネジメントの推進)」の「地域協議会等で出された事業アイデア例」に記載させていただいている。実現の可能性について、今後検討していきたいと考えている。

「スマートコミュニティの形成に向けて」について

- ・交流広場のパースを見ると雪がない状態であるが、地域暖房の熱を活用するなど、年中快適になるよう十分検討して欲しい。

「今後の流れ」について

- ・今後のスケジュールを教えて欲しい。

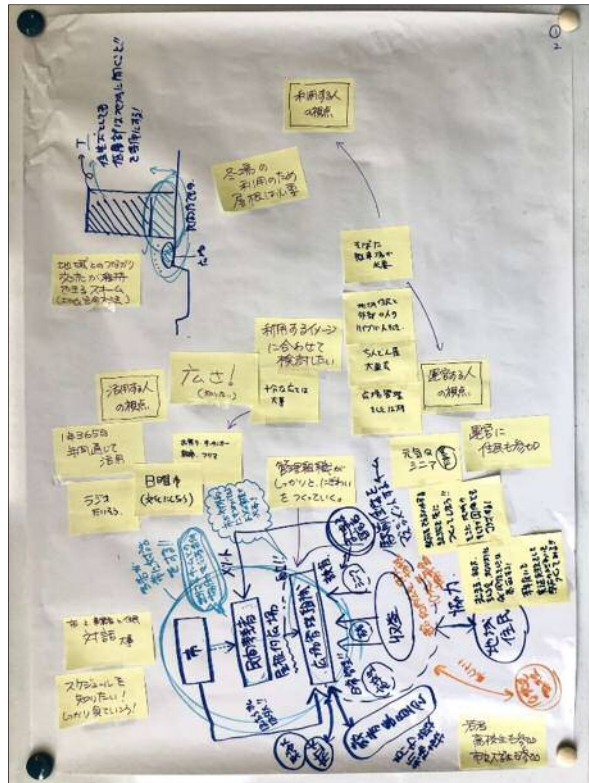
⇒（札幌市の回答）

- ・計画策定までのスケジュールについては、地域協議会と検討委員会から出てきたご意見を踏まえ、計画の内容についての修正・再確認など調整を行い、札幌市内部の調整等の手続きを進め、その後、議会への説明やパブリックコメントといった流れを想定しており、引き続きご意見を伺いながら計画策定に向けて取り組んでいきます。
- ・計画策定後の流れについては、「第 7 章 今後の流れ」に記載をしているとおり、A 街区から順に進めていきたいと考えている。

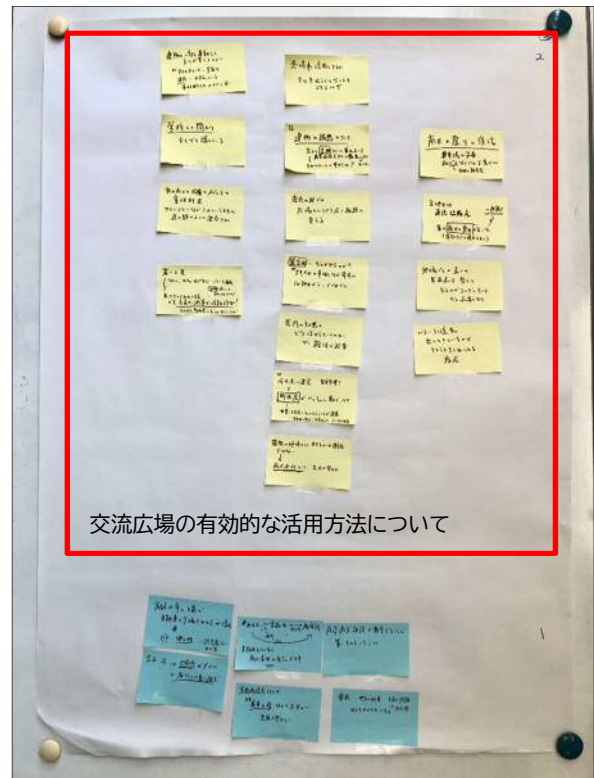
計画素案の全体を通して

- ・これまでの意見を踏まえた計画素案となっており良かった。
- ・計画素案は概ね良いと思う。
- ・懸念していたことが網羅され、検討・反映されたものになっている。
- ・これだけ話し合いを重ね、自分たちが携わった計画なので、計画の中身について自分達の言葉で説明できるようにする必要がある。新しい世代にきちんと引き渡せるよう、責任をもって進めていかなければならない。
- ・行政だけに任せるのではなく、地元の人には地元の人が伝えていきたいと思う。
- ・真駒内駅前だけではなく、人口の高齢化が進んでいたり、バスが減ったり、教育機関が減っていったりなど、地域の問題がたくさん出てきているので、駅前のエリアを考えることから色んなエリアの問題を議論するといった風潮につながると良い。

3 交流広場の有効的な活用方法について

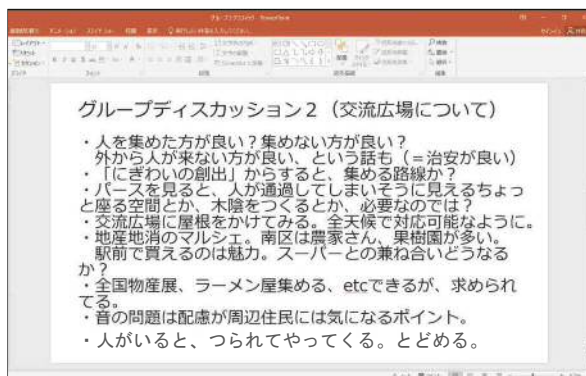


①グループ

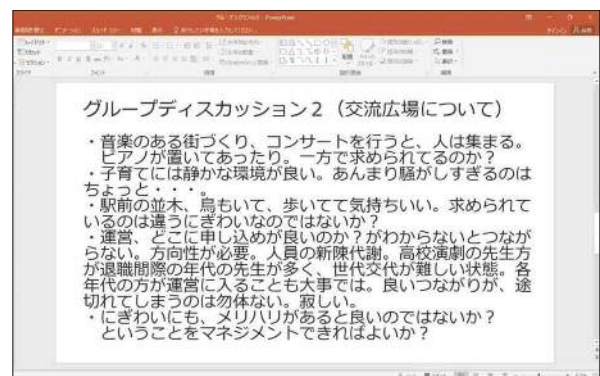


交流広場の有効的な活用方法について

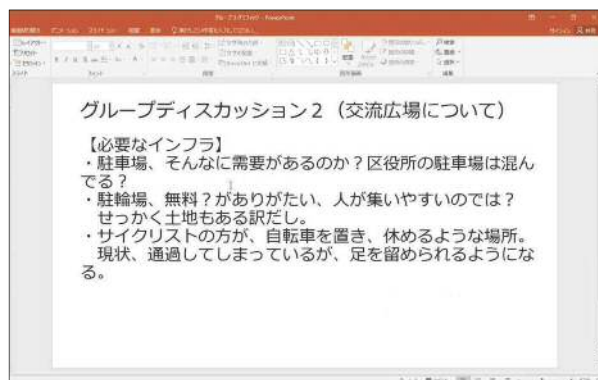
②グループ



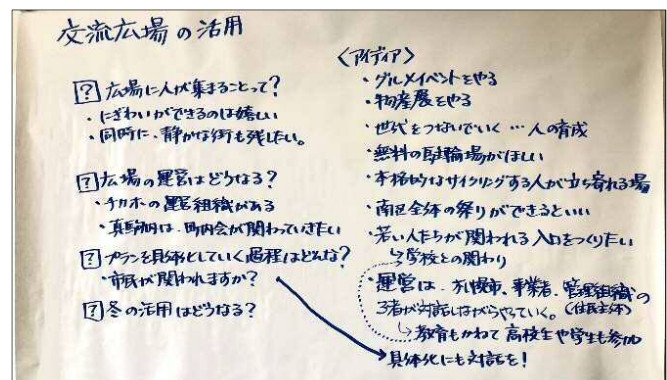
③グループ(1)



③グループ(2)



③グループ(3)



各グループから出た意見のまとめ

活用・利用について

〈意見として出た具体的な活用例〉

- ・地産地消のマルシェ
- ・全国物産展
- ・グルメイベント
- ・フリーマーケット
- ・朝市
- ・ラジオ体操
- ・キッチンカーフェス
- ・大道芸
- ・日曜市（文化にできればいい）
- ・南区全体の祭り（過去に行われていたものを復活させたい）
- ・音楽のある街づくりとしてのコンサート
- ・南区内の四季のイベント
- ・道の駅のようなワイン造りなどの紹介

〈検討内容・イメージ〉

- ・真駒内の良さを生かしながら賑わいを生みだすことが重要である。
- ・静かで閑静な真駒内のイメージも大事なため、メリハリをもった賑わいとなるようにしたい。
- ・周辺に住んでいる方への配慮として「音」の問題に気を付ける必要がある。
- ・冬期間の利用を見据えた広場空間を整備して欲しい。
- ・交流広場には人が集まるため、駅周辺に無料駐輪場を整備したり、真駒内を通るサイクリストが休憩できるようロードバイクなどを置くことができる本格的な駐輪場を整備して欲しい。
- ・交流広場に行けば誰かが何かしているという事を日常化することが重要である。
- ・交流広場には人が集まると思われるため、駐車場の整備が必要だと思う。
- ・子どもから高齢者まで様々な世代が集まれるようにすることが必要である。
- ・鳥のさえずりも聞こえたりするのも良い。

〈運営について〉

- ・札幌市、事業者、管理組織（住民主体）の3者が常に対話できるようにすることが重要である。
- ・継続的な運営をしていくためには、ボランティアではなく、しっかりとした運営・管理組織が必要である。
- ・若い人たちを巻き込めるような仕組みとしたい。
- ・人の育成や世代間の交流が重要である。
- ・教育も兼ねて、高校生や大学生も参加できるようにすることが必要である。
- ・各地区の町内会が関わるのが大事である
- ・チカホの事例も参考にできるのではないかな。

以上